



Leading Edge



Greeting

紅葉した山の木々が落葉しはじめ、初雪の便りも聞こえ始めました。JAA 会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年も豪雨や地震が多い一年でした。福島県沖での地震は、まさかの津波警報発令に、不安な1日になりました。一人一人の減災の意識を高めることが必要な時代になってきたようです。

そんな中、全国の自治体で初めて、高知県へのエアボートの導入が決まりました。エアボート導入は減災の手立ての一つです。いよいよ普及活動の成果が形になってきたようです。

Contents

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 会長挨拶 | 4. 高知県警察がエアボート導入決定 |
| 2. 協会の目的 | 5. Airboats Tips |
| 3. JAA Meeting – SUMMER
in LAKE INAWASHIRO 報告 | 6. TV 出演 報告 |
| | 7. 今後の予定 |

1. 会長挨拶

JAA 会員のみなさま、こんにちは。

今年の日本列島は台風の来襲で、大きな被害があちこちに出ました。

8月19日に八丈島近海で発生した台風10号は、東北地方を通過して日本海に抜けるという、特異な進路をたどりました。台風が東北地方太平洋側に上陸したのは気象庁が1951年に統計を開始して以来初めてだそうです。

また、11月22日早朝に起きた福島県沖で発生した地震では、津波警報が発令されました。住民の皆さんは、津波発生の警報を受け、どんなに不安だったかと思うと胸が苦しくなりましたが、全員避難していたということがニュースで流れ、教訓が生かされたのだと感じました。

私は、自分の身は自分で守るのは基本だと思います。警報だけを頼りにするのではなく、「自分の判断で危険を感じたら避難すること」が最も重要なことではないかと考えています。

近年、想定を上回る河川の氾濫や浸水被害、地震の頻発などが発生していることを考えると、水難水害時に有効なエアボートが早く広く普及してほしいと願います。

2. 会の目的

Japan Airboat Association は、「日本国内におけるエアボートの普及や安全管理」を目的とし、その達成のため5項目を柱に活動します。

- ・ Popularization: 各種イベントの実施
- ・ Safety: 航行マナー講習、整備講習の実施
- ・ Leisure: レジャー用エアボートの提案
- ・ Rescue: 救助用エアボートの提案
- ・ Volunteer: エアボートによる地域貢献、災害時の救助活動の実施

3. JAA Meeting - Summer 2016

in Lake INAWASHIRO 活動報告

実施日：2016年7月16日

毎年恒例、猪苗代湖でのイベントが開催されました。昼は猪苗代湖でエアボート試乗の他に、水上バイク、シーサイクル、カナディアンカヌーの組立と試乗など、水で遊べるものを準備しました。

防災アナリストによる安全講習

JAA 副会長の村石より開会の挨拶に始まり、続いて心配蘇生法と AED 使用方法の動画を視聴した後、本会員でもあり防災アナリストの金子富夫さんに安全講習を行って頂きました。

金子さんの講習では、命を助ける方法には、ロープ以外に、身近なものを使って助ける方法があることを学びました。また、人工呼吸時に使用するもので、直接相手に接触せずに施術できる道具も紹介して下さいました。

今後も金子さんに救助に関する色々なことをご指導頂けたらと思います。



(心電図を解析中です)

人工呼吸法と AED 使用方法のビデオ



金子さんによる安全講習



水の遊びも堪能

安全講習終了後は、いよいよ水の遊びをスタート。

事前準備段階では、佐々木会長自作の組み立て式カナディアンカヌーを組み立てました。組み立て式だと自転車で運べるくらいのコンパクトさだそうです。パーツに記載している記号を確認しながら上下左右のパーツを合わせていき、15分ほどで完成しました。



パーツに記載している記号を頼りに組立



みんなで組み立てると早いですね



当会員の石毛さんはカヌーの指導もされているようで、乗りこなしが上手です！

この日は風が強めで、手漕ぎだとさすがに風を受けると進ませるのはきつそうでした。

この日初登場したシーサイクルは、足こぎボートで二人乗りです。カタマラン（双胴体）なので、波やうねりに強く、しかも珍しいスクリュュー型。思ったより早く進み、ちょっとしたエクササイズ感覚で風の気持ちよさを感じることができる乗り物です。のんびり行くもよし、スピードを上げて走るのも楽しい乗り物でした。



エクササイズ気分になれる「シーサイクル」



エアボートならブッシュの中も行ける

いよいよエアボート試乗会

さて、猪苗代湖でのイベントでは恒例のエアボートの試乗会。今回も沢山の方々にダイナミックなエアボートの走りを体験して頂きました。

湖畔には奥行きわずか8メートルほどの浜があり、そこへパワーを上げて乗り上げ、さらにまた信地旋回して再び水へ。みなさんの表情が驚きが変わる！…この瞬間が、主催者にとっては非常に嬉しいのです。通常の船だと、陸上を走行することなどあり得ないのですから、当然驚かれることでしょうし、水上から陸上に乗り上げる瞬間は、ちょっとスリルを感じるのかもしれないですね。



地元企業の方も試乗

こうして、多くの方にエアボートの水陸の走行や、乗り心地を体験して頂きました。他にも水上バイクの試乗も合わせて行うなど、様々な乗り物を体験してもらうチャンスとなりました。



陸上に乗り上げた瞬間



水上バイクのスピードは想像以上に速い

猪苗代湖では、中田浜マリーナのスロープを使ってエアボートをアプローチさせているのですが、専務の荒井久依さんには、毎回スロープをご厚意で利用させてもらっています。協会の趣旨に賛同し活動にご協力頂いており、今回もお忙しい中、快く利用を承諾頂き猪苗代湖でのイベントを行うことができました。本当にありがとうございました。



中田浜マリーナにて荒井さんご家族と
向かって左端が新井さん、右から2番目が奥様

地元の方もお招きして親睦会

水上でのイベントの後は株式会社フレッシュエアーの猪苗代ベースをお借りしての親睦会を行いました。

お世話になっている地元の方にもお声掛けして参加して頂きました。



準備を含め皆さんお疲れ様！

今回はピザパーティーを中心にした BBQ を楽しんでもらうべく、簡易ピザ釜を造りました。初挑戦だけに、ちゃんと焼けるのか、焼け具合が気になりましたが、まんべんなく焼けるように入り口を閉めたり、生地を回したりして工夫しました。

マルゲリータや和風のピザなど、様々な好みのピザを作り、手作りピザ釜で焼いてみました。



イベント前夜に作った簡易ピザ釜



シンプルだからこそ味が引き立つマルゲリータ





焼くこと自体も、楽しめました！

さらに、山中湖在住のアーティストで、ピアニストの井上敦夫さん、尺八奏者の渡辺優さんにもご参加頂き、サクソフォンやブルースハープ、パーカッションを含めてのセッションを行い、大いに盛り上がりました。



参加してくれた子供たちやご近所の皆さんも美味しいと喜んで食べてくださり、音楽も楽しんでいただけました。

エアボートの普及を応援してくださる地元の方たちとの親睦も深めることができたいいイベントとなりました。



4. 高知県警察がエアボート導入決定

JAA 設立 3 年目に入り、ようやく普及活動の成果が見えて参りました。

全国の自治体で初めて高知県がエアボート導入を決定しました。

納入先は高知県警察。機動隊員が警備、救助活動等に活用されるとのことです。このために、株式会社フレッシュエアー 社長でもあり JAA の会長でもある佐々木氏は、昨年、高知市の鏡川でデモンストレーションを行い、高知県庁に表敬訪問、高知県警察と打合せを行うなど、導入のために精力的に活動して、全国初となる自治体への導入を掴んだのです。

これまでエアボートの普及を応援してくださった方々へ、嬉しいご報告ができることが、

頑張ってきた者にとってもこの上ない喜びです。

現在、株式会社フレッシュエアーの山中湖ベースにおいて、納入するエアボートの製造が着々と行われています。

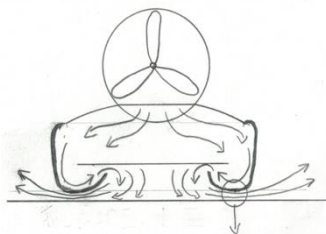
納入が完了するまでは気が抜けませんが、いいご報告ができるように、佐々木氏も頑張っており取り組むと意気込んでいます。

納入期限は来年平成 29 年 2 月末日までだそうです。完成が楽しみです。

5. Airboats Tips

前号に続き、ホバークラフトとエアボートの違いについてお話しを進めていきたいと思っています。

少しおさらいから。ホバーは写真のように浮いている訳ではなく、スカートと言われる部分に空気を送ってクッションエアーを発生させ、その上に乗って走行しています。



平らな地面や水面では
クッションエアーが発生する



ホバークラフトは、「スカート」と呼ばれる部分に空気を送り、クッションエアーを発生させる。

エアボートもホバークラフトもプロペラが作る推進力で前に進むのですが、ホバーは船体がクッションエアーの上に乗ることで摩擦力

を軽減しているところが大きく違います。

ところで、もし、この船体を支えているクッションエアーが失われてしまったら、船はどういう状態になるか想像できますか？

その答えは、ただの「船」になってしまいます。

では、クッションエアーが失われる時とは、どんな時なのでしょう。次にその場面をあげてみます。

A) 推進力をゼロにした時 (ワンエンジンの場合)

推進用の空気の噴射を浮上するために使っているのです。推進力を停止した時には、浮上もできなくなります。

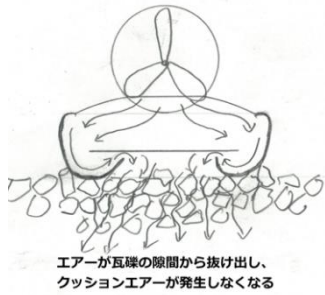
B) 石や瓦礫があるところ

スカートと呼ばれる部分は、風船のようになっているわけではなく、形は提灯ブルマのようなイメージ。だから、石や瓦礫の隙間にスカートから吹き出すエアーが入り込むと、浮上のためのエアーを失って、走行するのに支障が出ます。

C) 濁流上を走行できる舷の高さに 余裕がない場合

ホバークラフトはエアボートより、もともと舷が低く、濁流上はクッションエアーも減り気味になるため、波を被りやすく危険です。

これらでお分かりになると思いますが、ホバークラフトのクッションエアーがなくなると、ただの浮遊物になりかねないのです。しかも水害時を想定した場合、肝心なシーンで使えない状態に陥る可能性もでてくるのです。



クッションエアーを発生させている「スカート」と呼ばれる部分は、ゴム製で摩擦による磨耗も激しく、ましてや瓦礫の上を走行するとなると、破損は避けられません。破損すればエアーが漏れてしまいクッションエアーがなくなり推進することが難しくなります。

その点エアボートなら、船底も頑丈で簡単には破損しませんし、船の底には船体を保護し摩擦力を低減する樹脂を貼っているのです、瓦礫の上も問題なく進むことができます。

エアボートの優位性の一つは、ここにあるのです。

エアボートの優位性の続きは次号へ続きます。どうぞお楽しみに！

6. TV 出演 報告

・テレビ朝日

羽鳥慎一モーニングショー「聞きトリ」コーナーで取り上げていただきました。羽鳥さんが山中湖ベースに訪問されてエアボートにも試乗して頂きました。



・山梨 YBS 放送ワイドニュース

特番「夢の力 ～信じた道を進め～」で取り上げて頂きました。



7. 今後の予定

JAA MEETING Winter2016 in Tokyo

日時：12月21日（水）19:00～22:00

場所：自然派ワインレストラン

「マツシタバックス」

新宿区高田馬場 2-14-19

TEL:03-3200-5777

交流会と忘年会を兼ねた年間活動報告を都内で開催いたします。今回は、高田馬場にあるイタリアンレストランを貸し切りにして開催します！

この機会に、お誘い合わせのうえ、ご参加をお待ちしています。お久しぶりの会員の皆さんとも、楽しい交流の時間を持てたらと、楽しみにしています。

お申し込みは、JAA 役員へ直接お申し込み頂くか、JAA Facebook イベントページから、参加ボタンでお申し込みください。